

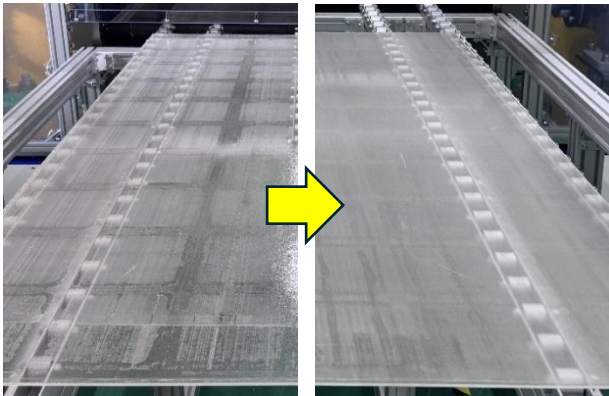
## 太陽光パネルカバーガラスの水平リサイクルを拡大 —EVA 膜除去効率向上により高品質なガラス回収を実現—

セントラル硝子プロダクツ株式会社（本社：三重県松阪市、代表取締役社長：川瀬将昭）は、株式会社エヌ・ピー・シー（本社：東京都台東区、代表取締役社長：伊藤雅文）が開発した、ガラス分離装置およびEVAスクレーパー<sup>\*1</sup>により分離・回収された使用済み太陽光パネルのカバーガラス約16トンを原料の一部に使用し、網入り磨き板ガラスと型板ガラスの試験生産に成功しました。これにより2026年6月から継続的な水平リサイクル<sup>\*2</sup>を開始いたしました。今回ホットナイフ方式<sup>\*3</sup>にEVAスクレーパーを併用することでEVA膜の除去効率が向上し、より高品質なガラスを得られることを確認しています。

日本国内において、耐用年数を経過した太陽光パネルの廃棄量は2030年以降、年間数十万トンに達すると見込まれ、これらの適切な処理やリサイクルは社会的課題となっています。太陽光パネルの全体重量の約6割を占めるカバーガラスを持続的にリサイクルすることで、廃棄物削減に加え、板ガラス製造に必要な天然資源の使用量の削減、ガラス溶解時のエネルギー低減によるCO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながります。

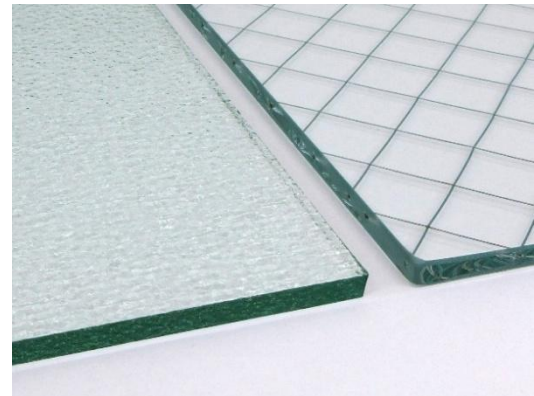
当社は今後も、さまざまなリサイクル方式の評価を行い、カバーガラスの回収拠点の拡大やリサイクルの促進に取り組むとともに、板ガラスの水平リサイクルの拡大を通じ、循環型社会そしてサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

- \*1 分離後のカバーガラスからブラシかきとり法<sup>TM</sup>により樹脂を除去する装置
- \*2 使用済み製品を原料として、同じ種類の製品を新たに製造するリサイクル方法
- \*3 加熱したナイフで太陽光パネルからカバーガラスを分離する技術



ガラス分離装置およびEVAスクレーパーを全国のリサイクラーへ供給し、使用済み太陽光パネルから高品質なガラスを分離

左：ガラス分離装置処理後のガラス  
右：EVAスクレーパー処理後のガラス



板ガラス原料として再利用し、  
水平リサイクルを推進

左：型板ガラス  
右：網入り磨き板ガラス

\* 本件に関するお問い合わせ先

セントラル硝子プロダクツ株式会社

イノベーション推進室

TEL:0598-53-3005

<https://www.cgprd.co.jp/contact/>